

令和8年度 学校経営計画書

学校番号	78	学 校 名	浜松工業高等学校（定）	校 長 名	白須 賢一
------	----	-------	-------------	-------	-------

1 スクール・ミッション

定時制の課程では、県西部地方唯一の工業科を有する学校として、創造性や課題解決能力を育む「課題研究」と、旋盤・溶接・CAD・電気工事・電気回路等の幅広い工業の「実習」を通して、人間性豊かにして、勤労を尊び、知性と創造性に富む地域を支える工業技術者を育成する。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
(1) 地域社会の持続的な発展を担う技術者・技能者に必要な学び続ける力と確かな知識・技能を持った人材 (2) 主体的に社会に関わろうとする意思を持ち、社会的・職業的に自立した人材 (3) 他者と協働しながら、自ら考え、表現し、行動できる人材	(1) 基礎的・基本的な学びから徐々に専門的な知識・技能の習得を目指すと共に活用するための教育活動 (2) 生徒の多様な特性に対応した、丁寧かつ安心安全な学習環境による教育活動 (3) 地域の産業界と連携し、自己有用感を高める教育活動	(1) 地域産業の持続的な発展を担う技術者・技能者を目指し、学ぶ力と知識・技能の向上を目指す生徒 (2) 専門的な知識・技能の習得の一環として、検定試験や資格取得等に積極的に取り組み、それを活用する意欲のある生徒 (3) 学校や社会の規則を尊重し、他の生徒と協働して学校生活に取り組む意欲のある生徒

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 基礎・基本を大切にした工業技術の学びをとおして、創造力や問題解決能力を育成する。
- イ 自己有用感を高め、社会に貢献できる職業観・勤労観を育成する。
- ウ 産業界や外部機関と連携することも含め実践的技術・技能レベルの向上を目指す。
- エ 基本的生活習慣の確立を図り、社会で通用する人材を育成する。
- オ どの場面でも安全を意識した「いのちの教育」を実践する。
- カ 学校の活動をより外部機関や義務教育関係者等に知ってもらうため広報活動の一層の充実を図る。
- キ 教育活動が円滑に展開できるよう教育環境・職場環境の整備を図る。
- ク 静岡県教員育成指標に基づいた教職員の資質向上を図る。
- ケ 職場環境を整え、教職員が心身ともに充実した状態で生徒への教育活動を行う。

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当 部署
ア	ものづくりの過程を通して、創造力及び問題解決能力の育成を図る。	基本的な技術の定着を図るとともに、課題解決型の実習や授業を取り入れ、生徒が自ら考え工夫しながら課題に取り組む学習活動を充実させる。	「実習に興味を持って主体的に取り組むことができた」と回答する生徒の割合 90%以上	工業科
イ	外部機関と連携した就労支援を在学時から行い、生徒の自己有用感を育むとともに、勤労意欲と社会参画意識の向上を図る。	商工会議所や地域企業等の外部機関と連携し、ものづくりの工程や実際の仕事を学ぶ機会を設けることで、生徒が自らの役割や働く意義を理解し、将来の就労に対する意識を高める。	「今年 90 日以上働くことができた」と回答する生徒の割合 65%以上	進路課 各学年
ウ	生徒が資格取得に意欲的に取り組むことができる指導体制の充実を図る。	授業において基礎的な知識・技能の定着を図るとともに、資格取得を意識したわかりやすい授業を実践する。また、難易度の高い資格についても積極的な受験を促し、放課後補習等を通して資格取得に向けた支援を行う。	計算技術検定の合格率 80%以上 情報技術検定の合格率 70%以上 基礎製図検定の合格率 50%以上	工業科

エ	教育相談体制の充実と保健・安全教育の推進、安全管理体制の強化を通して、生徒が安心して学校生活を送ることができる学校づくりを推進する。	毎日の登校時に挨拶運動を行うとともに、日常的に生徒とのコミュニケーションを図り、生徒理解の深化に努める。	「あいさつがしっかりできた」と回答する生徒の割合 90%以上	生徒課
		生徒の様子を日常的に観察し、必要に応じて通級指導員、SC、SSW 等と連携した個別の支援体制を構築する。	通級指導員、SC、SSW 等の専門職と連携した教育相談・支援を年間 10 回以上実施	管理職 各学年
		保健だより等を通して健康や環境衛生に関する情報を発信し、生徒の健康意識の向上を図る。	デジタルサイネージを活用した保健だよりの発行年間 10 回以上	養護
		KY T（危険予知トレーニング）の実施やヒヤリハットの共有を行い、安全管理体制の強化を図る。	授業中及び放課後の活動における重大事故ゼロ	教務課 工業科 全職員
オ	自分の命は自分で守る意識の高揚を図るとともに、交通マナーの徹底を通して安全意識の向上を図る。	交通安全指導や防災教育、薬物乱用防止教育等の安全教育を計画的に実施し、生徒が主体的に安全行動をとることができるよう指導の充実を図る。	交通安全に関する事業年 4 回実施、防災に関する事業年 3 回実施、薬学講座年 1 回実施、重大な交通事故ゼロ	総務課 生徒課 各学年
カ	学校ホームページ及び SNS を活用し、本校の教育活動や魅力を広く発信する広報活動の充実を図る。	学校ホームページや SNS の定期的な更新を行うとともに、教育活動や学校行事、生徒の活躍などを積極的に発信し、学校の魅力が伝わる情報提供を行う。	学校ホームページ及び SNS による情報発信を年間 150 回以上行う	管理職 全職員
キ	教育活動が円滑に展開できる教育環境及び職場環境の整備を推進する。	教職員が安心して教育活動に専念できるよう、職務内容の精選及び職務分担の見直しを行い、働きやすい職場環境の整備を図る。	夏季休暇取得率 100% 時間外勤務の年間時間を前年度比 95%以下に削減 服務事故 0 件	管理職
ク	教職員の資質向上を基盤として、生徒の意欲を引き出す指導方法の確立を図る。	ICT 機器の効果的な活用及び教員育成指標に基づく研修の推進により授業改善を図るとともに、発達支持的生徒指導を意識した声掛けを通して、生徒が主体的に学習に取り組む授業づくりを推進する。	授業に対して「わかる」「楽しい」と回答する生徒の割合 60%以上、授業に主体的に取り組めたと回答する生徒の割合 60%以上、授業の中で自分の考えを表現できたと回答する生徒の割合 50%以上	全職員
ケ	適切な業務の遂行	働きやすさと働きがいを意識した適材適所への人員配置をする	年間総時間外在校等時間を全職員年間平均 360 時間以下（90%）	管理職